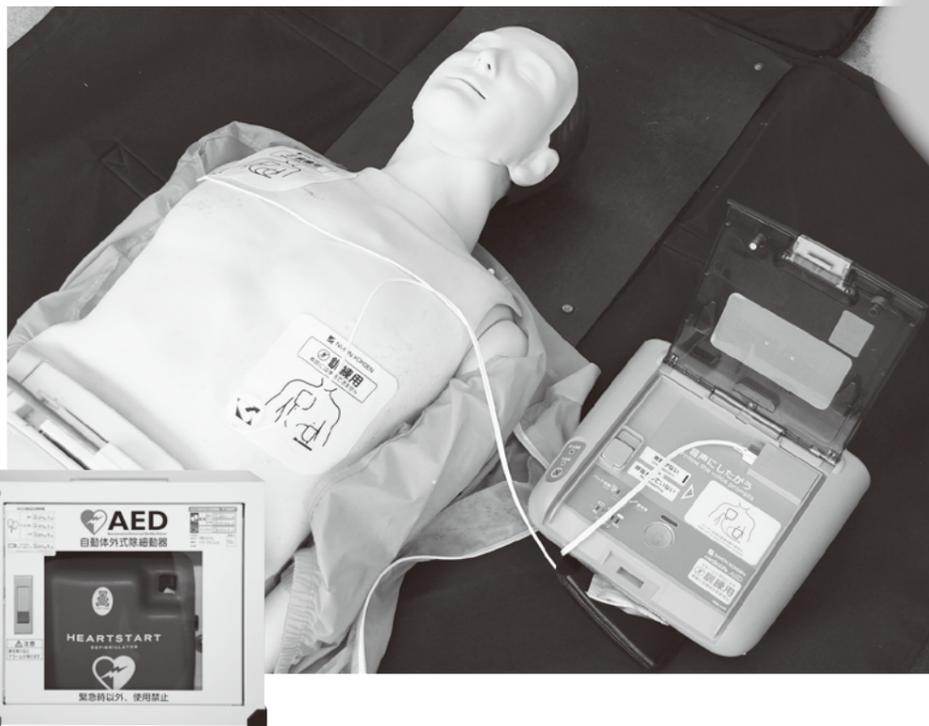


救急車が来るまでに

救命処置とAEDの活用



私たちは、いつ、どこで突然のけがや病気におそれるかわかりません。そんなときに、家庭や職場などでできる手当てのことを「応急手当」といいます。そして、けがや病気のなかでも最も緊急を要するのが、心臓や呼吸が止まった状態で、こんな人の命を救うために、そばに居合わせた人ができる手当てが「救命処置」です。今号では、救命処置のなかで心肺蘇生法とあわせて行うことで有効な「AED」についてお知らせします。

AEDとは…

AED (Automated External Defibrillator) とは、自動体外式除細動器のことです。心室細動になった心臓に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

平成16年7月から、医師や救急救命士等の医療従事者ではない一般市民でも使用できるようにになり、病院や診療所、救急車はもちろんのこと、学校や空港、駅、スポーツクラブ、公共施設など人が多く集まるところを中心に設置されています。



▲AEDが設置されている施設の表示

心室細動とは、心臓の筋肉がけいれんを起こしたような状態になり、全身に血液を送るポンプ機能が失われる致死性不整脈の一つです。この心室細動の唯一の治療方法が、除細動器 (AEDを含む) で電気ショックを与えることだといわれています。そして、AEDの使用とあわせて、私たち一般市民が胸骨圧迫や人工呼吸を行うことで、1人でも多くの命を救うことができます。



1分1秒でも早く…

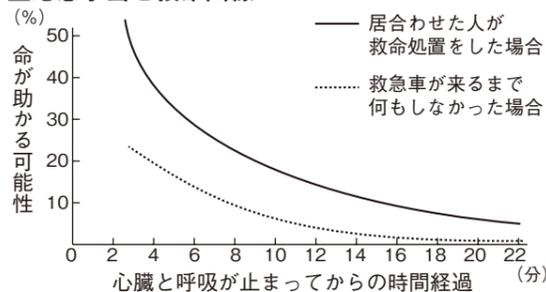
心室細動は、電気ショックがあればどんな状況でも正常な動きに戻るものではありませんし、時間との勝負です。1分1秒でも早く電気ショックを行うことが重要で、生存退院率は除細動が1分遅れるごとに7〜10%低下する (※2) といわれています。天草地域では、119番通報してから救急車が到着するまでに約8分かかります。救急車が到着する前に、傷病者の近くにいる私たち市民がAEDを使用して、電気ショックをできるだけ早く行うことが重要になります。

AEDの使用方法

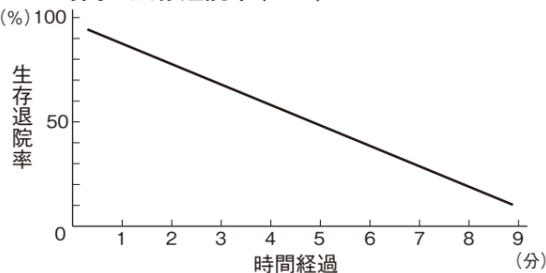
AEDの使い方は簡単で、特別な医学的知識は必要なく、AED本体の音声指示に従って2〜3つの操作をするのみです。



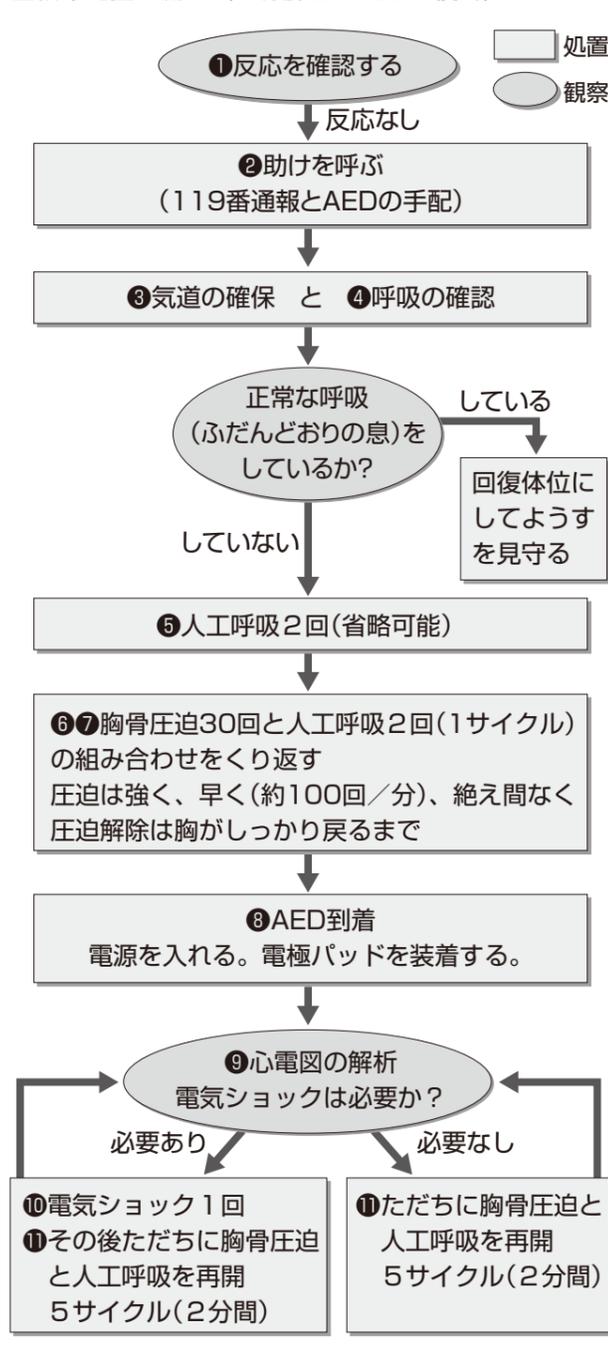
◆応急手当と救命曲線



◆心室細動による心肺停止から電氣的除細動までの時間と生存退院率 (※2)



◆救命処置の流れ (心肺蘇生とAEDの使用)



「応急手当講習会」を受講しませんか!

天草広域連合消防本部では、心肺蘇生法やAEDの取り扱いなどについて学ぶ「応急手当講習会」を定期的実施しています。受講は無料です。皆さんの受講をお待ちしています。

■講習内容

- 普通救命講習Ⅰ (3時間)
- 普通救命講習Ⅱ (4時間)

■開催日程

- 中央消防署 (東浜町) … 毎月第2日曜日
 - 南消防署 (牛深町) … 毎月第2土曜日
- ※時間はいずれも午前9時から正午まで (普通救命講習Ⅱは午後1時まで)。

■申込方法

受講を希望する人は受講日の2日前までに、電話で中央消防署 ☎②3376・南消防署 ☎③2519へお申し込みください。

「救命処置やAED」についての詳しいことは、
天草広域連合消防本部・警防課救急救助係 ☎②3247へお尋ねください。